

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 ギプス包帯 33056000

キャストライト・X

再使用禁止

【警告】

使用方法

- 1) 本品を水に浸した後は、水を絞りすぎないこと。
[絞りすぎると、硬化が急激に促進され、本品の発熱温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 2) 本品を必要以上に巻きすぎないこと。
[必要以上に巻きすぎると、本品の温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 3) 完全に硬化するまで、無理な力や体重をかけたりしないこと。
[本品が変形、破損し、怪我を引き起こすおそれがあるため。]
- 4) 本品カット時には、必ずマスクやエプロン等を着用し、換気に留意し肌への直接の接触を避けること。
[カット時に生じるガス及び粉体を体内に吸入、または接触すると、呼吸器障害及び皮膚障害を起こす可能性があるため。]

【禁忌・禁止】

使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 水は、水温25℃以上を使用しないこと。
[本品の硬化には発熱が伴うので、水温が高いと本品の温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 3) 本品を巻いた直後は、巻いた部分を包帯等で覆わないこと。
[本品の硬化には発熱が伴うので、放熱を妨げると、低温火傷のおそれがあるため。]
- 4) 硬化前の本品を素手で触れないこと。又、硬化前の本品に直接肌が触れないようにすること。
[樹脂の付着並びに皮膚かぶれの可能性があるため。樹脂が付着した場合は、樹脂が硬化(接着性が消失)する前にアルコール等の有機溶剤で拭き取ってください。]

【形状・構造及び原理等】

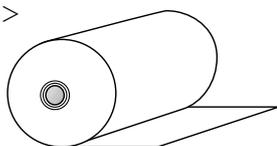
1. 種類・規格

種類	規格
2号	5.0 cm × 3.6 m
3号	7.5 cm × 3.6 m
4号	10.0 cm × 3.6 m
5号	12.5 cm × 3.6 m

2. 構造

本品は、水硬化性ポリウレタン樹脂をポリエステル繊維の編物に塗布した、ロール形状のキャストリングテープである。

<模式図>



3. 原理

本品は、ポリエステル繊維の編物に塗布した水硬化性ポリウレタン樹脂が水と反応、硬化することにより、患部を固定できる剛性と強度を発現する。

【使用目的又は効果】

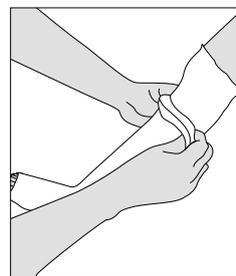
骨折、疾患のある関節又は疼痛のある捻挫を固定するために、固い被覆保護材（ギプス包帯）を構成するプラスチックの用具である。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) 適応サイズの選定
患部に応じて適切なサイズの本品を選定します。
- 2) 準備

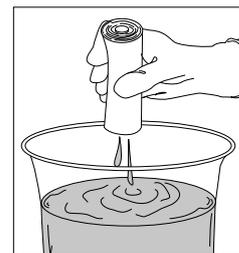
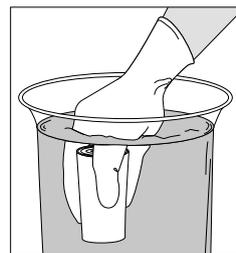
- ① 本品を適用する患部には、必ず下巻材を装着します。通常、本品装着後の縁の処理のため、2重にしたチューブ包帯を長めにかぶせ、その上から下巻用包帯を巻きます。屈曲部や関節部には、緩衝材として十分に下巻材を巻いて患部を保護します。



- ② 本品の樹脂が付着するのを防ぐために、術者・介助者はグローブ、エプロンを着用します。

3) キャスティング

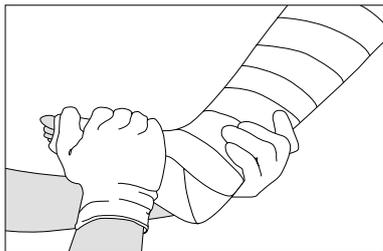
- ① 使用直前に本品を1巻ずつ包装から取り出し、水に5～10秒間浸します。
本品を水中から取り出し、軽く絞ります。水を絞りすぎないようにしてください。



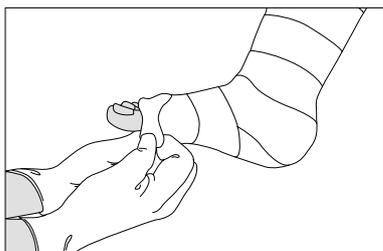
- ② ロールを転がすようにして巻きます。強く引っ張りすぎないでください。(使用巻数は通常、前腕-手部で約3～5層、下腿-足部の体荷重を要する足関節部は約6～8層を目安にしてください。)キャストの断端部分はしっかり押し付けるようにしてください。



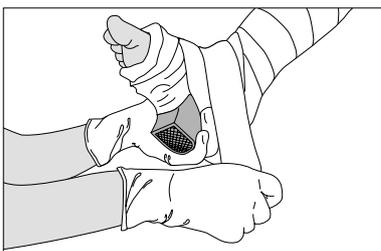
- ③ モールディングを行います。モールディングは、押しつけるようにすると層間の接着がさらに高まります。



- ④ 本品の縁を処理します。巻きあがった本品の縁が、直接肌に当たらないように、長めになっている下巻材を、本品の外側に折り返します。

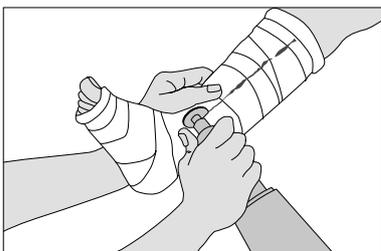


- 4) ヒールの取り付け
ヒールを取り付ける場合は、本品の発熱が終了してから取り付けてください。又、ロールは1巻全てを使用せず、余った分はカットして捨て、巻きすぎないようにしてください。



- 5) キャスト表面の保護
本品の表面がざらついているときは、本品が十分に冷えていることを確認し、包帯等を巻いて保護します。

- 6) キャストの除去
本品を除去するときは、必ずマスクやエプロンなどを着用し、カッターの刃が1ヶ所にとどまることのないように、移動させカットしてください。
[刃が1ヶ所にとどまると、刃と本品の摩擦により、刃が高温になり、火傷の原因となります。]



2. 使用方法に関する使用上の注意

- 1) 本品は、ディスプレイ製品なので、破損及び著しい汚損が認められる場合には、新しい本品と交換してください。

- 2) 腫脹がなくなり、患肢が細くなった時など本品が緩んだ場合には、新しい本品と交換してください。
- 3) 硬化後の本品の縁は、肌を傷つけることがあります。直接肌に当たらないように、本品の縁を下巻材や絆創膏で覆い、保護してください。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
患部に腫脹、感染創、潰瘍、発疹等がある患者。必要に応じて開窓する等の適切な処置をして、ご使用ください。
[皮膚障害や血流障害が起こる可能性があります。]
2. 重要な基本的注意
- 1) 本品装着中、及び装着直後は、発熱を伴うので、患者が熱さを訴えた時は直ちに本品を外してください。
 - 2) 本品使用中に、痛み、しびれ等の症状がありましたら、直ちに医師に連絡するよう患者に指導ください。
 - 3) 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置をしてください。
 - 4) 本品は水硬化性ポリウレタン樹脂を使用しているため、包装が破損している場合や本品内容物の一部が硬い（硬化している）場合は使用しないでください。
 - 5) 包装を開封したら直ちに使用してください。
3. 不具合・有害事象
- 1) 本品を長期間装着する場合、発汗等により、皮膚障害の発生する可能性があります。定期的な観察をすると共に、異常を感じた時は、直ちに医師に連絡するよう患者に指導ください。
 - 2) 本品の過度な締めつけにより、循環障害や神経麻痺の発生する可能性があります。症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置をしてください。
4. その他の注意
- 1) ヒールを取り付ける場合は、本品の発熱が終了してから取り付けてください。
[ヒール取り付けのために、本品をさらに巻くことになるので、発生した熱が患部に蓄積され、低温火傷のおそれがあるため。]
 - 2) 装着中の本品に直接水がかからないようご注意ください。
[皮膚の表面が長時間ぬれた状態になると、皮膚かぶれ等を起こす可能性があります。]
 - 3) 未開封の本品を乱暴に取り扱わないでください。
[包装が破損して、本品内容物が硬化し使用できなくなる事があるため。]
 - 4) 樹脂の偏りの原因となるので長期間、箱を縦積みしたり本品を立てて保管しないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水ぬれを避けてください。直射日光及び高温多湿を避けて、常温保管してください。
2. 有効期間
パッケージに表示。（自己認証データによる）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者
アルケア株式会社
2. 連絡先
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階
お客様相談室： ☎ 0120-770-175